マルチメディア
ユーザ ガイド

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2007 年 11 月

製品番号：460854－291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

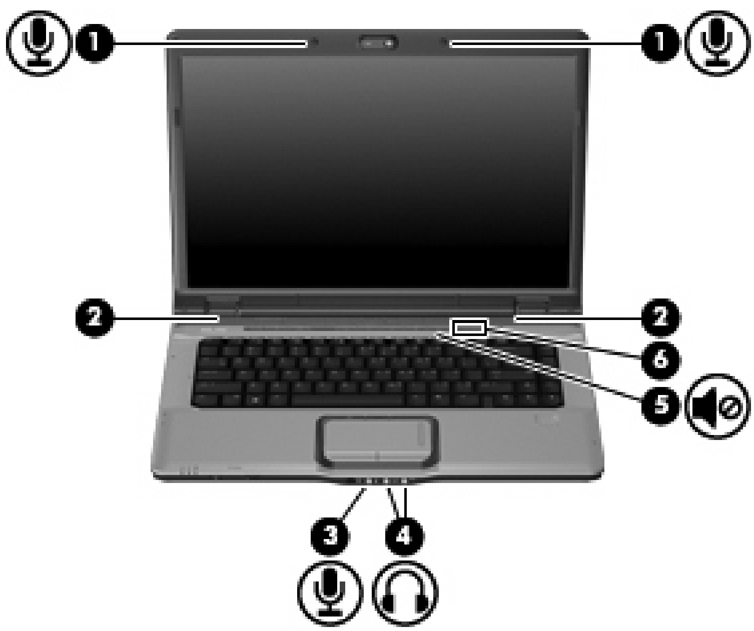
目次

1　マルチメディア ハードウェアの使用

オーディオ機能の使用

以下の図と表で、お使いのコンピュータのオーディオ機能について説明します。

注記：　お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。



名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）（一部のモデルのみ）	サウンドを録音します 注記：　それぞれのマイク開口部の横にマイク アイコンがある場合は、コンピュータに内蔵マイクがあることを示しています
(2)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(3)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	市販のコンピュータ ヘッドセット マイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(4)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（2 つ目のコネクタは一部のモデルにのみ搭載）	市販の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します

名称	説明
(5)　ミュート ボタン	コンピュータのサウンドを消音（ミュート）したり元に戻したりします
(6)　音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します。指を左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。スクロール ゾーンのマイナス記号をタップして音量を下げたり、プラス記号をタップして音量を上げたりすることもできます

オーディオ設定に関する重要なお知らせ

お使いのコンピュータの HDMI ポートに高精細テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続する場合に、最高の音質を得るには、以下のガイドラインに従ってください。

- ソフトウェア アプリケーションは、[QuickPlay]を使用します。
- SPDIF（Sony/Philips Digital Interface）をオーディオ再生の初期デバイスに設定します。

他の方法を選択すると、音声は、オーディオまたはビデオ デバイスからではなく、コンピュータのスピーカからのみ聞こえる可能性があります。

SPDIF をオーディオ再生の初期デバイスに設定するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。
2. **[再生]**タブを選択します。
3. **[SPDIF インタフェース]**→**[規定値に設定]**の順に選択して、**[OK]**をクリックします。
4. [QuickPlay]を起動すると（または、すでに実行中の場合は起動しなおすと）、お使いのデバイスから音声が聞こえるようになります。

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

コンピュータには、ステレオ アレイまたはモノラル マイクをサポートするステレオ（デュアル チャネル）のマイク コネクタが装備されています。マイクを接続して録音ソフトウェアを使用すると、ステレオ録音が可能になります。

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用

警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

注意： 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッドフォン コネクタに差し込まないでください。

ヘッドフォンコネクタは、ヘッドフォンを接続する他に、外部電源付きスピーカやステレオ システムなどのオーディオ機器のオーディオ出力機能を接続するためにも使われます。

ヘッドフォン コネクタへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。

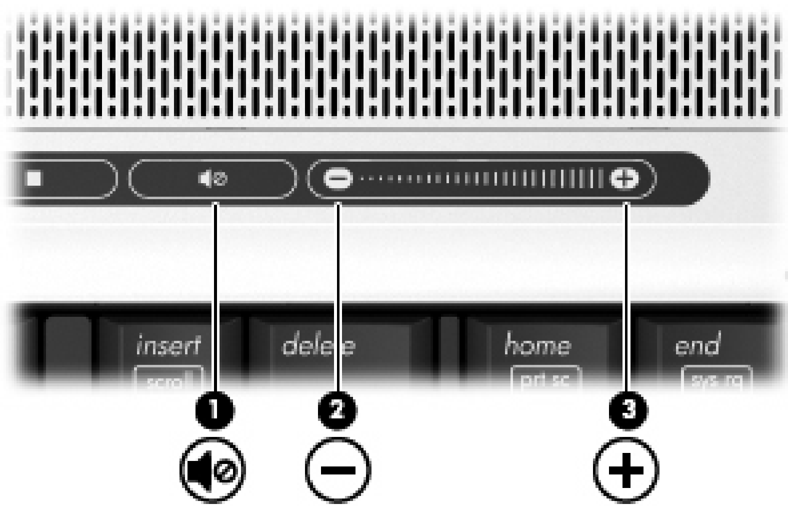
ヘッドフォン コネクタに機器を接続すると、スピーカは無効になります。

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピュータ本体の音量調整デバイス：
  - 消音（ミュート）したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量下げボタン（**2**）を押します。
  - 音量を上げるには、音量上げボタン（**3**）を押します。

  注記： 音量調整デバイスの操作時に聞こえるタップ音は、出荷時の設定で有効になっています。セットアップ ユーティリティ（f10）でタップ音を無効にできます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。**[ミュート]**アイコンをクリックして音量をミュートにします。

  -または-

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックして、**[音量ミキサを開く]**をクリックします。

  b. [デバイス]列でスライダを上下に移動して音量を調整します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音量をミュートにすることもできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で表示します。

  a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

  b. **[通知領域]**タブをクリックします。

  c. [システム]アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。

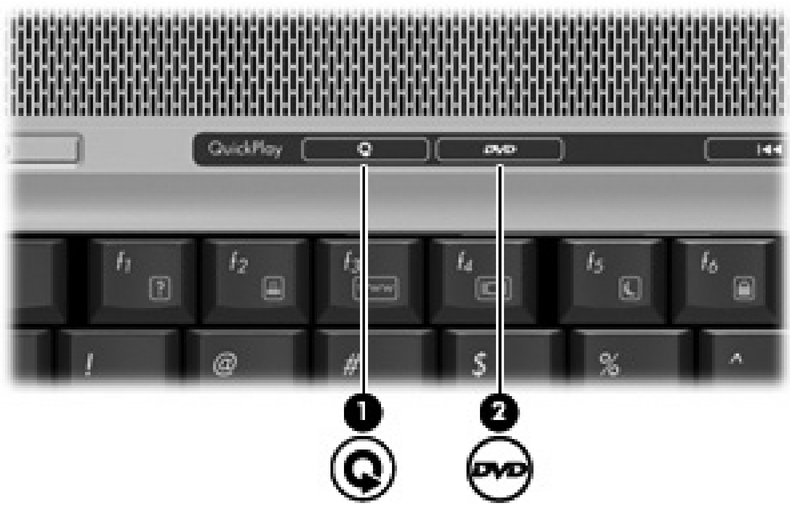
  d. **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

Quick Launch Buttons（クイック ローンチボタン）の使用

メディア ボタン（**1**）および DVD ボタン（一部のモデルのみ）（**2**）の機能は、モデルおよびインストールされているソフトウェアによって異なります。これらのボタンを使用して、DVD の動画や音楽を再生したり、画像を表示したりできます。



メディア ボタンを押すと[QuickPlay]プログラムまたは[DVDPlay]プログラムが起動します。

DVD ボタンを押すと、[QuickPlay]プログラムの DVD 再生機能が起動します。

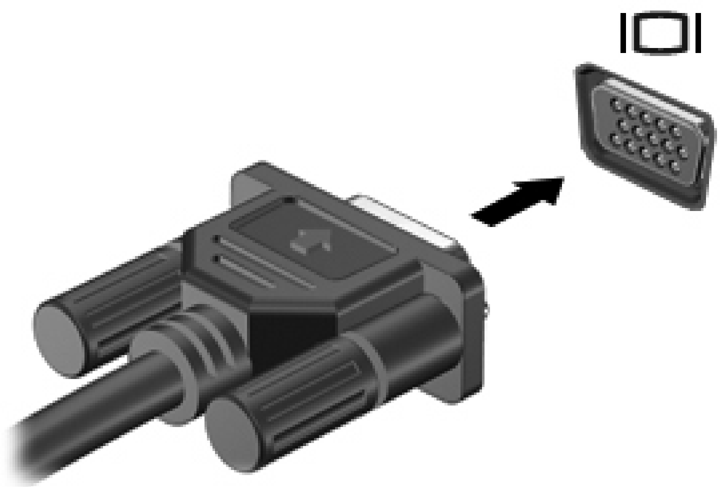
注記： コンピュータがログオン パスワードを要求するように設定されている場合は、Windows にログオンするよう求められることがあります。ログオンすると、[QuickPlay]または[DVDPlay]が起動します。詳しくは、[QuickPlay]または[DVDPlay]のヘルプを参照してください。

ビデオ機能の使用

外付けモニタ ポートの使用

外付けモニタ ポートは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ ポートに接続します。



注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

S ビデオ出力コネクタの使用（一部のモデルのみ）

このコンピュータの 7 ピンの S ビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、オーバーヘッド プロジェクタ（OHP）、ビデオ キャプチャ カードなどの別売の S ビデオ機器を接続できます。

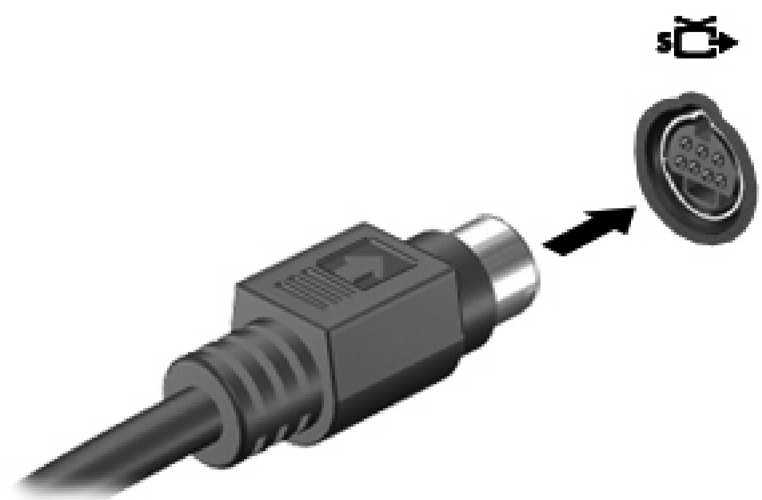
S ビデオ出力コネクタ経由でビデオ信号を送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能な S ビデオ ケーブルが必要です。DVD の動画をコンピュータで再生してテレビに表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォン コネクタに接続するため、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルも必要です。

このコンピュータの S ビデオ出力コネクタには、1 台の S ビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。

注記： S ビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ機器を S ビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. S ビデオ ケーブルの一方の端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに接続します。



注記： コンピュータを別売のドッキング デバイスに装着しているためにコンピュータの S ビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキング デバイスの S ビデオ出力コネクタに S ビデオ ケーブルを接続します。

2. ビデオ機器に付属の説明書に沿って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn + f4 キーを押します。

Web カメラの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータでは、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラおよび[CyberLink YouCam]ソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[CyberLink YouCam]**→**[YouCam]**の順に選択します。

注記： Web カメラ ソフトウェアに初めてアクセスした場合は、ソフトウェアが起動するまでに多少時間がかかる場合があります。

Web カメラの使用方法について詳しくは、HP の Web サイト（http://www.hp.com/support/）を参照してください。[HP サポート－日本（日本語)]を選択し、[検索：]テキストボックスに「ノートブック Web カメラ」と入力して検索します。

YouCam を初期設定の Web カメラ ソフトウェアとして使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：Web カメラで動画の録画や再生をします。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- 動画の再生：インスタント メッセージ プログラムを起動すると、YouCam によってツールバーが表示されます。そのツールバーからグラフィックスによる効果を追加できます。
- 特殊効果：フレーム、フィルタ、およびエモティコン（顔文字）を写真や動画に追加できます。
- スナップ写真：写真を 1 枚ずつ撮影したり、一気に連続して撮影したりできます。
- 接続：ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、写真や動画を電子メールで送信できます。

注記： 内蔵カメラに対応するソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。

カメラ ランプ（**1**）は、ビデオ ソフトウェアがカメラ（**2**）にアクセスすると点灯します。



パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインに従ってください。

- 動画によるチャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- お使いのネットワーク ファイアウォールによっては、Web カメラが正しく動作しない場合があります。別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザと通信するときに動画の表示や送信に問題が生じる場合は、一時的にファイアウォールを無効にしてください。

注記： 特定の状況下では、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラのプロパティの調整

以下のような Web カメラのプロパティを調整できます。

- [輝度]：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定するとより明るい画像になり、輝度を低く設定するとより暗い画像になります。
- [コントラスト]：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- [色相]：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- [色彩]：最終的な画像の色みの強さを調整します。彩度を高く設定するとより鮮やかな画像になり、彩度を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- [シャープネス]：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- [ガンマ]：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整することで、大幅に陰影およびハイライト部分を変更することなく、中間色の灰色部分の輝度を変化させることができます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- [バックライト補正]：バックライトの明るさを調整します。（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。）

[プロパティ]ダイアログ ボックスは、内蔵カメラを使用するさまざまなプログラムから、通常は構成、設定、またはプロパティ メニューを使用して表示できます。

オプティカル ドライブの使用

オプティカル ドライブを使用して CD や DVD の再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアにより、可能な作業は異なります。

取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認

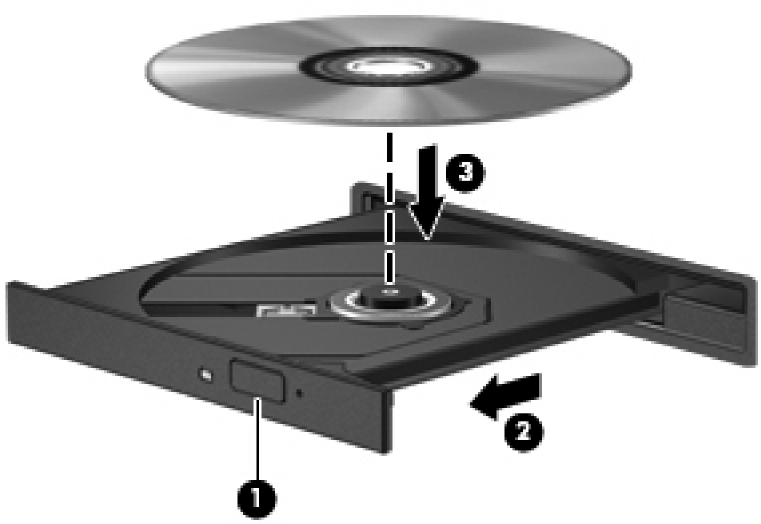
▲ **[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ディスク（CD または DVD）の挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



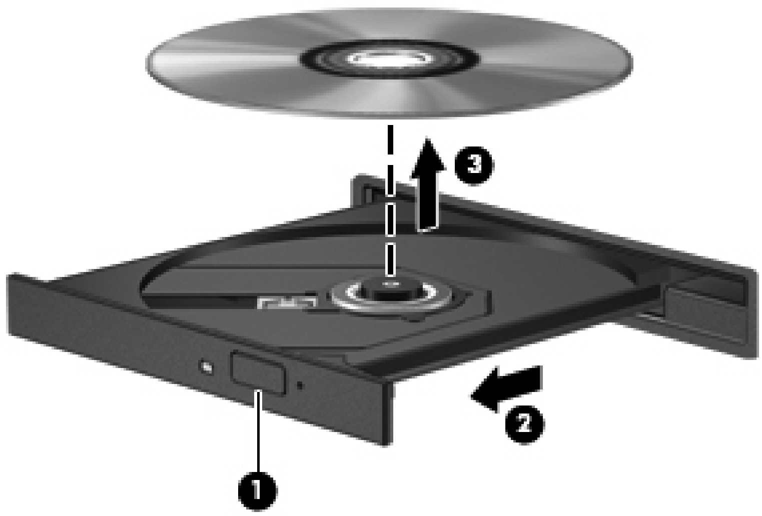
6. ディスク トレイを閉じます。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

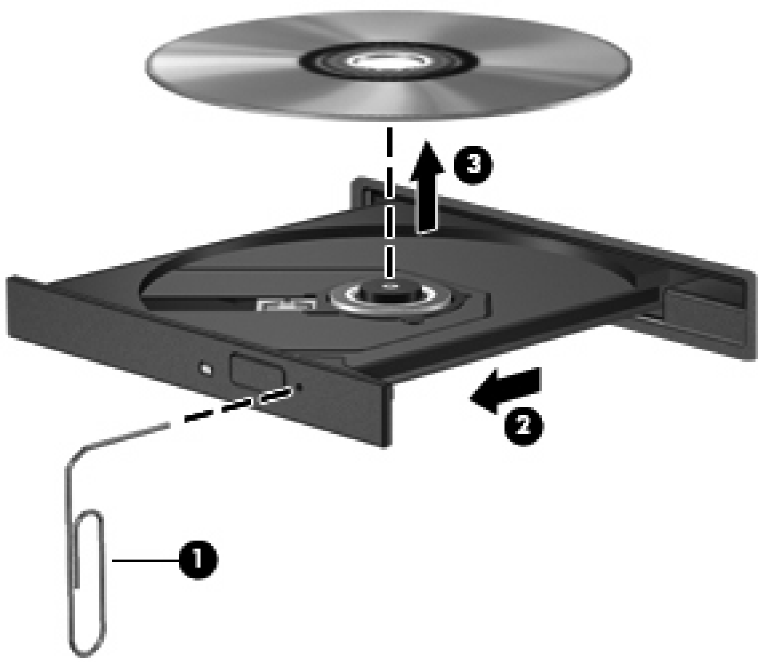


3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

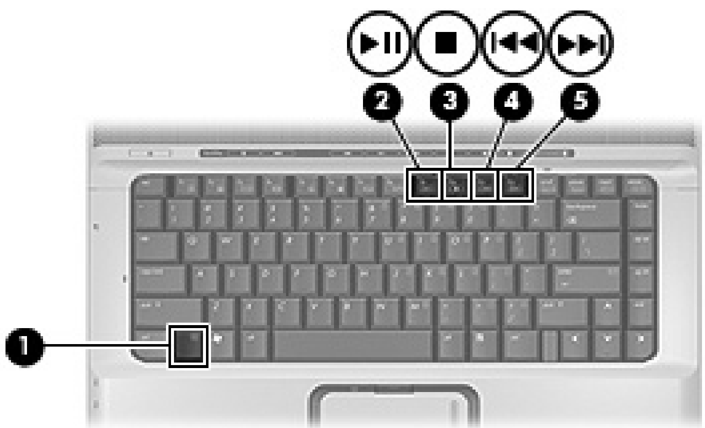
メディア操作機能の使用

メディア操作ホットキーとメディア ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカル ドライブに挿入されているオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キーの組み合わせです。

- 停止しているオーディオ CD または DVD を再生するには、fn ＋ f9 キー（**2**）を押します。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
  - ディスクを一時停止または再開するには、fn ＋ f9 キー（**2**）を押します。
  - ディスクを停止するには、fn ＋ f10 キー（**3**）を押します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、fn ＋ f11 キー（**4**）を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、fn ＋ f12 キー（**5**）を押します。

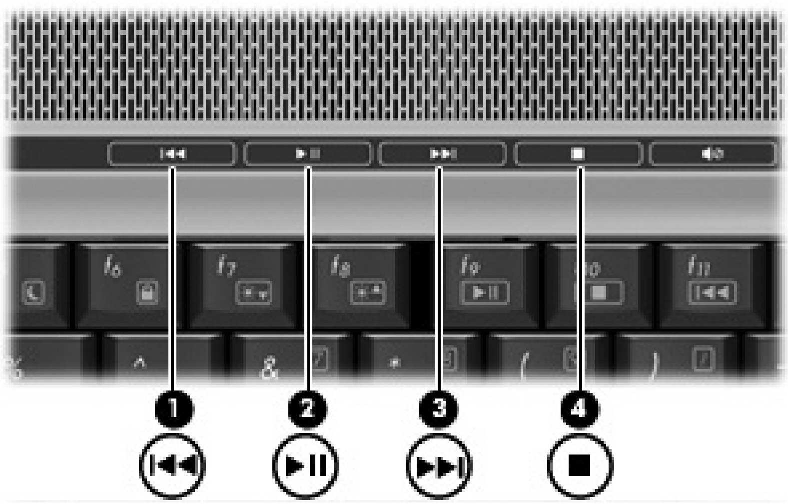


メディア ボタンの使用（一部のモデルのみ）

注記： メディア ボタンを押すと鳴る音は、工場出荷時に有効に設定されています。この音はセットアップ ユーティリティ（f10）で無効に設定できます。

以下の図および表では、メディア ボタンの機能について説明します。

- 前/巻き戻しボタン（**1**）
- 再生/一時停止ボタン（**2**）
- 次/早送りボタン（**3**）
- 停止ボタン（**4**）



前/巻き戻しボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	前/巻き戻しボタン	前のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn ＋前/巻き戻しボタン	巻き戻します

再生/一時停止ボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生していない	再生/一時停止ボタン	メディアを再生します
再生中	再生/一時停止ボタン	再生を一時停止します

次/早送りボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	次/早送りボタン	次のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn ＋次/早送りボタン	早送りします

停止ボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	停止ボタン	再生を停止します

2 マルチメディア ソフトウェアの操作

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、以下のマルチメディアに関する操作がサポートされています。

- オーディオ CD、ビデオ CD、オーディオ DVD、ビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたは動画の作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み

注意： 情報の消失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインに従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを、安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブにコピーし、その後でハードドライブからコピー先のディスクにコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

注記： コンピュータに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを開く

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択します。
2. 起動するプログラムをクリックします。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、[QuickPlay]でオーディオ CD を再生する場合、**[QuickPlay]**をクリックします。

注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

2. オーディオ CD などのメディア ディスクを、オプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

または

1. オーディオ CD などのメディア ディスクを、オプティカル ドライブに挿入します。[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。
2. 画面の説明に沿って操作します。

再生の中断の予防

再生が中断される可能性を低減するには、以下の点を確認してください。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの着脱を行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープ状態を開始しないでください。開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると以下のようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じられます。CD または DVD の再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再び起動します。まれに、プログラムを終了してから再起動しなければならない場合があります。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システム プロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるために、ユーザ アカウント制御機能があります。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの使用、Windows の設定変更などのタスクではユーザのアクセス権やパスワードが必要になる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

3. **[DVD/CD－ROM ドライブ]**の横の「＋」記号をクリックします。
4. **[DVD/CD－ROM ドライブ]**を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

索引

も